

市建設の第二段階へ

市長、施政方針を表明

〔要旨〕
昭和三十三年七月一日、全市民が大きな希望を抱いて誕生した大野市は、今年七月で市制五年を迎えることになった。新市発

〔要旨〕
足らい建設五カ年計画（学校、道路、商工業、農林業の振興）に向つて伸展の一端をたどり建設事業に大きな業績を残してきたほか、さらに公約であった越美北線の着工、全市民健康保険の実施、電源開発の誘致など順調な歩みをつけてきた。

この間四度の当初予算を組み、大過なく過ぎてきたことは議員各位を始め、全市民が市政に理解をもち、新市育成のためにたゆまざる努力と協力があつた賜であることを深謝する。



しかしながら設備投資ブームの反動が、当市産業の大宗である繊維業界にも不況の余波を受け、これが更に深刻であつて市内の経済事情を非常に悪化させた。一方、農業地帯では三年続きの豊作に恵

さらには健全で積極重点施策に
新予算の編成に当つては、合併当時の赤字を解消するため、消費的経費の大幅な節減を図るかわり、さらに進んで建設事業の施行を図らなければならぬので、予算の編成にはとくに腐心してきた。

新しい構想で市民福祉の向上へ

また、市内いたる所で行われている建設工事によつて、市全体の経済のバランスを保つことができた。

今後は全力を尽して繊維業界の活路を開くよう努めるほか、農林業の伸展に一段と力を入れたい。

さらに飛躍した新しい時代にあつた大野市の建設を図るために、これまでの事業実績を基礎にして新市建設計画をたて、いまその第二段階へと進む新しい軌道の敷設に当つていたいせつな時期である。

第24回 定例市議会

昭和33年度当初予算およびその他の重要議案を審議する第24回定例市議会は、3月10日午前11時30分から市役所下庄出張所で開かれました。

森嶋議長は開会を宣言、川崎総務委員長から会期を同月25日までとする議事日程の報告がありこれを決め一人休憩、午後1時5分、森嶋議長が病気のため松田（操）副議長は再開を宣言、斎藤市長は約30分にわたり昭和33年度の施政方針を明らかにしました。

続いて二つの報告と、5号～16号までの14議案を一括上程、議案の内容を池田市助役から説明があり、午後5時この日の議事日程を終り閉会しました。

（議事日程）

10日本会議、14日、17日、18日本会議一設質問、18日各常任委員会に審議付託、19日、20日総務、産業経済委員会、22日、24日教育民生、建設委員会、25日総務委員会、26日本会議。

この長い議事日程の間、各議員からは建設的発言も多く、慎重審議を重ねられた結果、昭和31年度決算の認定ならびに追加議案とも26議案を原案どおり可決し、26日午後5時40分閉会しました。

市制五年の記念式歌を募集

今年の七月一日で市制施行五年を迎えることになりました。この芽でたい日を記念するために七月一日には全市民で盛大に市制施行五年記念式を行うことになりました。

この記念式と旗行列に唱う歌を、全市民から募集することになりましたので、奮つて応募してください。

◇ 応募要領

- 1 大野市の躍進を象徴する歌詞であること（明朗で市民に親しまれる歌詞）
- 2 応募資格 市民であること
- 3 用紙 原稿用紙
- 4 締切期日 四月三十日
- 5 原稿送り先 大野市役所総務課広報係
- 6 賞金 入選一点 三千元 佳作三点 各五百円
- 7 発表 五月二十日 各新聞紙上および市報

完納がききずく
われらの明かるい市



三月十日から全国に緑化運動が始まっている。福井県では四月一日から七日間を緑化運動集中期間と決め「山の緑の日」、四日には羽根知事が来野して、亀山裏で第一回福井県緑化大会が行われる。山野の森林資源は六〇億石の蓄積と年間成長量は一億七千万石、反面需要は二億二千万石といわれている。しかし毎年六万余町歩の美林が火災によつて消えていることは見逃しできぬ事実である。▼大野市の林野面積は一万三千四百二十七町歩、内植林可能面積は一万町歩で現在までに植林された面積は一千二百町歩である。▼治山治水は歴史的にも治国の基礎であることは今も変りはない。今から八十年程前敗戦の国デนมックは彼の偉大な士ダルクスなどの情熱によつて見事、荒廢の地ヒース地帯を緑化して現在の樂園郷を築いた。▼「みどり」は若さの象徴、緑の山河は故國の郷愁……。かく申しては胸にかざる青い羽根は単なるアクセサリーではない。しかし皮肉にも天下は桜の花見どき花より団子たちが、興なつて一枝手に飾るに至つては、やれ緑化だ植樹だといつても始まらない。これまさに樹木の害は緑化への心がまえである。

- 主なもくじ
- (一面) △第24回定例市議会 市長施政方針演説のあらまし △市制五年記念式歌募集 △風見鶏
 - (二面) △33年度当初予算解説 △上程議案解説 △遊園地名募集 △今月の行事
 - (三面) △今月の気象 △第一回緑化大会 △市民の明かるい動き △農事メモ △かるた
 - (四面) △国保相談 △風土記 △市営農場開始 △林業メモ △市民の声 △婦人メモ

総額 四億二千三百二十四万九千九百

一般会計 三億三千五百二十五万五千

特別会計 七千七百九十九万四千

33年度当初予算

一般会計

昭和三十三年一般会計の特色をあげてみますと、主なものは次のとおりであります。

〔歳出〕 学校建設、商工業、農林業の振興などに重点施策が盛り込まれていることがうかがわれます。

①学校 新築では有終西小学校第二期工事に二千六百九十七万五千円、上庄小学校改築工事に九百二十二万円、小山小学校阿難分校改築工事に六十万円、大野公民館ステージ改修工事に六十万円、有終南校土地買収および整地費三百二十万円。

②商工業 市政五年行事のため市祭行事委託に五十万円、商店街などの施設費五十万円(商店街共同美化施設)六間通り街路灯の新設費五十万円、店舗改装資金の貸付金三百万円、中小企業融資預託金二十万円、六間通り街路樹植付費十万円、スキー場整備など三十五万円、中央公園街路灯新設に三十万円、織物協同組合利子補給および預託金や貸付金の一部借入金利子百九十一万二千円、部落電話架設費三百万円。

の計上が見られる。

③農林業 青果市場設置調査費五万円、和牛種牛補助三十五万円、農場費八十四万二千円(元県立積雪寒冷対策試験地大野分場を市営農場とする)奥地林道六百万円、県単林道百万円、市単林道百五十万円、橋りよう修繕費百六十万円。

④社会・労働 市営住宅二十戸建設費七百五十万円、生活困難者に貸付金五十万円。

⑤保健衛生 ごみ焼却場新設二千五百万円(一日の焼却能力三千貫のもの)。

⑥土木費 道路、橋りようの新設改修については前年と同様重点施策の中にあけて大幅な予算

の計上が見られる。

⑦雑収入 中小企業貸付金の戻入その他、三千九百八十八万円増。

⑧市債 八百二十万円増、一般土木債その他合計九千二百二十万三千二百円増。

の計上が見られる。

①特別会計七地区国民健康保険歳入歳出予算額 三千九百六万二千円。大野地区二千九十九万一千七百円。同直営富田および五箇診療所歳入歳出予算百九十四万九千三百円。

②特別会計簡易水道事業歳入歳出予算額 一千五百四十八万五千円に決議されました。

上程議案の説明

追加上程議案を含む二十六議案のうち、主な議案について説明いたしますと次のとおりです。

三月議会のやまは五、六、七八の各議案で、これは本年度の一般および特別会計当初予算でありました。これは予算解説のとおりであります。

△議案第十五号 財産の処分について 小山小学校校舎の一部を阿難分校に移築し、この移転費を地元負担としてこの代償

△議案第十七号 昭和三十三年一般会計歳入歳出追加更正予算 一千三百四十二万九千八百円減、総額三億四千四百四十二万三千八百円になりましたが、この主な原因は有終西小学校建築工事の一部が事業繰越となつたものです。

△議案第十八号 昭和三十三年特別会計国民健康保険歳入歳出追加更正予算(七地区) 二百九十九万八千八百円を追加、

の計上が見られる。

△議案第二十号 三十二年特別会計土地画整理事業歳入歳出追加更正予算 六百五十三万一千八百八円増額で総額一千二百三十八万八千八百八円となりました。これは区画街路二号線新駅から横町に抜ける市道の新設その他。

△議案第二十一号 三十二年度発電所建設事業特別会計歳入歳出追加更正予算 九百二十二万七

の計上が見られる。

千七百六十四円の追加。これは唯野、七板両地籍の土捨場面積の拡大に伴う補償費です。

△議案第二十三号および二十四号ならびに二十五号は、木の本簡易水道建設工事と、一般会計の土木費ならびに教育費、土地画整理事業を予算の繰越および継続費として支出する議決を経たものです。

△議案第二十六号 新市町村建設計画策定について 市報第四十四号一面に詳しく掲載したものです。

△議案第二十八号 昭和三十三年特別会計国民健康保険歳入歳出追加更正予算(七地区) 二百九十九万八千八百円を追加、

昭和33年度一般会計当初予算額

歳入総額 533,255,000 (41.0%)

歳入内訳

- 市税 187,398,000 (35.3%)
- 市債 24,500,000 (4.6%)
- 市税 24,500,000 (4.6%)
- 市債 24,500,000 (4.6%)
- 市税 24,500,000 (4.6%)
- 市債 24,500,000 (4.6%)
- 市税 24,500,000 (4.6%)
- 市債 24,500,000 (4.6%)

歳入総額 533,255,000 (41.0%)

歳入内訳

- 市税 187,398,000 (35.3%)
- 市債 24,500,000 (4.6%)
- 市税 24,500,000 (4.6%)
- 市債 24,500,000 (4.6%)
- 市税 24,500,000 (4.6%)
- 市債 24,500,000 (4.6%)
- 市税 24,500,000 (4.6%)
- 市債 24,500,000 (4.6%)

の計上が見られる。

歳入総額 533,255,000 (41.0%)

歳入内訳

- 市税 187,398,000 (35.3%)
- 市債 24,500,000 (4.6%)
- 市税 24,500,000 (4.6%)
- 市債 24,500,000 (4.6%)
- 市税 24,500,000 (4.6%)
- 市債 24,500,000 (4.6%)
- 市税 24,500,000 (4.6%)
- 市債 24,500,000 (4.6%)

の計上が見られる。

歳入総額 533,255,000 (41.0%)

歳入内訳

- 市税 187,398,000 (35.3%)
- 市債 24,500,000 (4.6%)
- 市税 24,500,000 (4.6%)
- 市債 24,500,000 (4.6%)
- 市税 24,500,000 (4.6%)
- 市債 24,500,000 (4.6%)
- 市税 24,500,000 (4.6%)
- 市債 24,500,000 (4.6%)

歳入総額 533,255,000 (41.0%)

歳入内訳

- 市税 187,398,000 (35.3%)
- 市債 24,500,000 (4.6%)
- 市税 24,500,000 (4.6%)
- 市債 24,500,000 (4.6%)
- 市税 24,500,000 (4.6%)
- 市債 24,500,000 (4.6%)
- 市税 24,500,000 (4.6%)
- 市債 24,500,000 (4.6%)

石ドウロ遊園地 (駐車場)の名称募集

市費百三十万円を投じて工事を急いでいました石ドウロ遊園地が、四月二十日にいよいよ完成することになりました。

そこでこの名称を市民の皆さんから募集することになりましたから、どうぞ良い名を付けてください。

1 遊園地にふさわしい名称であること。

2 応募資格 市民であること。

3 入選三点に記念品を贈呈。

4 締切期日 四月三十日

5 送り先 市役所商工課

6 用紙 官製はがき

7 発表 五月十日各新聞紙、市報で

の計上が見られる。

△議案第二十八号 昭和三十三年特別会計国民健康保険歳入歳出追加更正予算(七地区) 二百九十九万八千八百円を追加、

の計上が見られる。

千七百六十四円の追加。これは唯野、七板両地籍の土捨場面積の拡大に伴う補償費です。

△議案第二十三号および二十四号ならびに二十五号は、木の本簡易水道建設工事と、一般会計の土木費ならびに教育費、土地画整理事業を予算の繰越および継続費として支出する議決を経たものです。

△議案第二十六号 新市町村建設計画策定について 市報第四十四号一面に詳しく掲載したものです。

△議案第二十八号 昭和三十三年特別会計国民健康保険歳入歳出追加更正予算(七地区) 二百九十九万八千八百円を追加、

今月の行事

一 七日 △緑の週間 △火災予防週間

八日(火) △市消防総合訓練

十五日(火) △戸籍事務研究会 ところ小山出張所

二十九日(火) △天皇誕生日

△住民登録人口(二月二十八日現在)

総数 四六、四五〇人

男 二二、七二二人

女 二三、七三二人

世帯数 八、九一七

の計上が見られる。

△議案第二十八号 昭和三十三年特別会計国民健康保険歳入歳出追加更正予算(七地区) 二百九十九万八千八百円を追加、

の計上が見られる。

千七百六十四円の追加。これは唯野、七板両地籍の土捨場面積の拡大に伴う補償費です。

△議案第二十三号および二十四号ならびに二十五号は、木の本簡易水道建設工事と、一般会計の土木費ならびに教育費、土地画整理事業を予算の繰越および継続費として支出する議決を経たものです。

△議案第二十六号 新市町村建設計画策定について 市報第四十四号一面に詳しく掲載したものです。

△議案第二十八号 昭和三十三年特別会計国民健康保険歳入歳出追加更正予算(七地区) 二百九十九万八千八百円を追加、

大野市の人口

△住民登録人口(二月二十八日現在)

総数 四六、四五〇人

男 二二、七二二人

女 二三、七三二人

世帯数 八、九一七

△議案第二十八号 昭和三十三年特別会計国民健康保険歳入歳出追加更正予算(七地区) 二百九十九万八千八百円を追加、

の計上が見られる。

下旬やや荒れる日もある

今月の気象豫報

〔概況〕 四月上旬、わが国の南岸は前線帯となりやすく、薄曇りまたは曇りがちの天気が多く、中旬以後は移動性高気圧が現われ比較的良い日もあつて、晩霜があるもよう。

〔天気〕▽月上旬 本邦東洋岸上に高気圧が現われ、また本邦南岸に前線が発生しやすい傾向のため南部では比較的曇が多く、北部では良い方で、また上旬末ころ一時風雨の強いこともありましよう。北部山沿いでは、みぞれか、多少降雪があるやもしれず、気温は平年並、降水量はやや少め。

▽中旬 この期間は高気圧が本邦をとり天候は周期的に変わります。気温は平年並かやや高め、降水量は平年並でしょう

第一回 県緑化大会

亀山で行わる

三月十日から四月十五日までの間、全国に緑化運動が行われます。四月四日は山の緑の日を記念して福井県第一回緑化大会が亀山で午後一時から羽根知事を迎えて開かれることになりました。各小中学校にはヒマヤシダーの木が贈られるほか市では街路樹の植樹に力を注ぐ

市民の明るく動き

やわらかい日射しが降り注ぎ日陰に残る雪も解け始めたある日、下中野園芸研究会を尋ねました。ちょうどビニールハウスの中で、かん水作業に忙しそうに立回っている島田一雄会長(三十歳)に偶然お会いできましたので、この会のおこりについてお聞きしました。

昭和三十三年三月初めに、島田さんらの若い年齢層の十数名が集つて、下中野園芸研究会を作りました。

て通過しやすく、東洋岸上で停帯することもありますが、天気は比較的良い方、下旬初めと末ころ、やや風雨が強くなり気温がさがることがあります。平均気温は平年より多少高く降水量は多少少ない見込み。

ことになつていませう。なお今年もまた東京の萩原貞さんから五百本の桜が贈られたので、赤根川の両堤防と忠魂碑の境内に植え付けすることになりました。

〔ナワシロ〕

ナワシロの作り方は最近いろいろいわれていますが、室内育苗はまだ試験段階で改良の余



〔ナワシロ〕 ナワシロの作り方は最近いろいろいわれていますが、室内育苗はまだ試験段階で改良の余

交通機関の発達した現在、従来の営農法を行つては、市外から早出野菜の入荷によつて常に地元の市場が侵食される憂いがあります。それでこの会員は絶えず新しい農法を取り入れて新鮮な果菜類の早期出荷を

活動的な下中野園芸研究会

計画し、この地方の消費者に新しい果菜類を供給して早く、しかも安いもので食糧を賑わそうというのがねらいです。

またこれによつて、市外に流れて行く市のお金を食い止め、さらには新しい市場の開拓に当

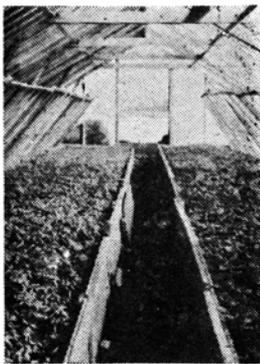
〔郷土いろはかるた〕 総合開発ついに完成



真名川総合開発事業は、昭和二十八年着工いらい五年の歳月と、四十八億円の巨費をかけて昭和三十三年十一月完成しました。笹生川、雲川ダムの水は、中島発電所に送られて年間約一億KWhの電力を出すほか、農業用水を確保し、こう水を防ぐという三つの目的を果すことになりました。

地があると思ひます。電熱温床は資材や労力などの関係で、全面積をこれで行うという事は困難なことでしょう。床土や管理が十分行われるのでしたらビニール畑ナワシロの苗は質の良いものができます。しかし五月十日以降に植える一

育で、二月二十日に第一回目の仮植ができ、第二回目の仮植は三月十五日に行われましました。生き生きとした苗の育ちは、毎日わが子を育てるような努力を続けた会員たちをどんなにか喜ばせたことでしょう。またこの事業は、農山漁村部落振興対策事業の一部に加えられることに決まり、努力した会員の労が報いられることになりました。



写真：ビニールハウス

これでは地元消費地では従来より二十日間も早く、地方のナスやトマト、それにキュウリが食

た。(写真はビニールハウス)

注意して欲しいことは、種モミを芽出まきすること、焼モミ殻は黒く焼けたものを坪当り八升覆土もできればした方がよいと思ひます。油紙をかけてあるうちは、油紙の上に水が乗らないよう常に気を付けるなど、ぜひ実行して欲しいと思ひます。

〔病虫害〕 ワタグサレ病、コエ皮、青ミドロなどは毎年ナワシロに常発しますが早く手当をしましょう。

また立枯病が発生しがちな箇所は、表土に焼土を用いるか、メチル・プロマイドで消毒します。

保温折衷ナワシロや電熱温床に発生する「むれ苗」は、厚まきで温度の急変にあつた場合に多発します。

低温や肥料不足、厚まき、多湿が原因して思わぬ病害を受けることがあります。薬剤の散布は困難ですから良い環境を作つておくことが最もたいせつです。

ナワシロに発生する切ウジは整地前にアルドリン・デルコなどを施して置くことよと思ひます。苗が浮いて根が切れているときは水を落して、BHC剤〇・五―一%を散布します。

〔ツサイ〕 (ジャガイモ) 早植早肥、土密がジャガイモ作りのコツです。催芽して即効性肥料を早め早めに施し、土密も十分行うようにします。

雪解けとともにゴボウ、春ナなどを植し、ネギなどの苗床も作るようになります。



國保相談室

15

ことしの保険税

問P子 新年度保険税の税額
は、いつわかりますか。また
決定の方法はどうですか？

(答) 御承知のように市民税の
第一期分の納期は六月であり、
市民税賦課の基礎となる課税總
所得金額(総所得金額から基礎
控除と勤労控除それに国民健康
保険税を控除したもの)は六月
下旬でないかと確定しません。
したがって七月になつてから
確定した保険税の額をお知らせ
します。

問P子 それでは第一期分(

四、五、六月分)の保険税は
どのくらいになりますか？
(答) 被保険者の数に異動があ
る場合に限つて人数割額をなお
すはか、おおむね前年度第四
期分の掛金額を暫定的に賦課す
ることになつていきます。

農業技術のセンター

市営農場事業開始

田園都市とうたわれている市の
農業経営を最も科学的に調査検
討し、これを実際に実験して市
の農業経営を早く科学的に進歩
発展させる目的で、新たに市営
農場ができました。

今後は農業実験室と密接に連
絡して、市の農業が科学的に無
駄のない発展進歩をたどること
が期待されています。



林業

九重桐はまだ研究期

最近、新聞紙上で九
重桐(タイワンキリ
)の栽培がよく宣伝
されていますので、
ときどき問い合せが
ありますからお答え
いたします。

九重桐は本県ではまだ普及
していません。それは気候や地
質などに研究を要する点が残さ
れているからです。
九重桐は日本に移入されて
から日が浅く、研究が必要とさ
れています。日本キリよりも成
長期が長い、寒害を受けやす
い欠点もあります。日本キリと
九重桐の長所短所を比較して
みると次のとおりです。

九重桐の長所

- 1 在来の日本キリより三倍以上も成長がよい。
- 2 耐病虫性は比較的強いがしかし絶対的のものではない。

その短所

- 1 九重桐は日本キリより遅くまで成長を続けるので、樹皮木質化がおそい、初雪が早く寒気のきびしい地方には不向きである。



声

きで栽培も困難。
2 風害に対して弱い傾向がある

血税は効果的に
使われているか
市制らしい躍進
的な発展を続け
るにつれて、
市の予算も四億円を上回るよう
になつていく。

あちこちで行われている市の
建設事業は大きな希望を持つて
発足した市民の期待を忠実に実
行しているようで、実にたのも
しい。しかし、すべてが手放し
で喜んでいくわけには行かない
たとえば昨年十二月に行われ
た横町通りから中央通りの舗装
工事アスファルトにしても、工
事しゆん功早々、大きな穴がで
きて通行人に実に不愉快な感じ
を与えている。

尊いわれわれの血税は、この
ような事業効果の薄い仕事に消
えて行くのかと思うと暗い思い
がする。県や市の役員は、よく
工事の監督に当らなかつた結果
ではなからうか？ (A生)

(答) アスファルト簡易舗装
工事は夏季に行うのが最も良い
とされていますが、投書の県道
松谷谷大野線、熊野地保(通
称中央通り)の工事は、昨年末
降雪期をひかえ、悪条件下であ
りましたので工事施行にあつた
りましてはとくに路面の強度、その他
についても注意して工事に当り
ました。

しかし一部に、き損の箇所が
できましたのは、不幸にして路

面に弱い部分があるか、または
局部的に衝撃を加えたものと思
われます。

工事施行箇所は、二カ年の間
は工事施行者が修繕しなければ
ならないことになつていきますの
で、市民の皆さんには、いささ
かのご負担もかけないことにな
つていきます。一日も早く施行者
をして、完全に補修させるよう
にしたいと思つていきます。

(大野土木出張所係員)

みんなの声で
明るく住みよ
いと思ひます
大野市の建
設にあたりましよう。日ごろの
皆さんのご不満やご意見を、声
の欄にどしどしお寄せください
(市役所総務課広報係)

いまから百六十八年、天明六
年の正月十七日のことです。
比丘尼(びくに)町のこんに
やく屋、長兵衛さんが、大野町
年寄川端弥七さんの宅
を訪ね「内々のお願ひ
ですが、わたくしは幼
少から商ひにあちこち
歩き、家に帰りますと
必ずお地頭様(土井利
貞)の方に向い伏し拝
み冥加として一文銭を
たため、十丸になるや銀貨や金貨
に替えて、たぐわえています。
その内から昨年十九両だけご地
頭様へ内々にあげました。まだ
たくわえが五十両残つていま



これらもあげたいと思います。
今年養子ももらうので、心
变りをすると思ひから、世間に
知られないようにして、いまの
内々にあげたいと思ひます」
すると川端さんは、どう思つ

こんにやく屋の献金

いまのお金で二百余万円

たか「それは奇筈じやが、百両
あげてくれんか」
長兵衛「それはできません」
川端「では昨年の十九両を合
わせて百両あげてくれ」
長兵衛さんは、ちよつと考え

たが二の句なしに「わかりまし
た」と快諾しました。
そこで川端さんは、さつそく奉
行様へ申上げますと「十九両含
めずに百両あげてくれ」とのこ
とで、またまたそのとおり長兵

い、なんとかしてあげてくれ」
という話合いますと、
長兵衛「わかりました、五十
両はいつでも登上げ、残り五十
両は七月中にあげます。それと
もつごうがつけば、早くあげま
す」と承知しました。

結局は七月までのばさず四月
中に全額百両を差上げました。
このお話は、その当時の社会
相の一端を知ることができま
すともかく一行商のこんにやく
屋が世間にかくして百十九両の
大金を献納したことは、容易な
ことではなかつたことでしょう
いまの貨幣に換算しますと約二
百十四万円ほどになります。



△ヌカミソの新床

ヌカ
ミソの
床をつ
くるに

よい時季です。ふつうの醤油
だる(一斗入)を標準にしま
すと、米ヌカ三、四升をさら
つといり、別に塩四、五合を
水二升にかかします。その後
一度煮立てよくさましてから
ヌカと合せて十分かきまぜま
す。カラシ粉を一袋まぜま
す。風味もよく虫もつきません
毎日一回以上かきまぜること
すばくなつたら石灰石を少
し入れるとなおります。